

◆◆◆かけ算にんじゃ認定証◆◆◆

- 昨日の中休みと昼休み。  
校長室の扉を2年生の子どもたちが一人、二人とノック。  
かけ算九九、一の段から九の段まで
  - 上がり九九  
ににんが4, にさんが6…
  - さがり九九  
にく18, にはち16…
  - ばらばら九九  
にろく12, にさんが6…
- 全てを間違えずに言えるようになり、「かけ算忍者」になるための試験を受けに来た子どもたちです。



私 「では、かけ算忍者認定試験をはじめます。あなたの試験問題は、□の段の（あがり、さがり、ばらばら）です。準備はいいですか？」  
子ども 「はい…」

こんな感じで挑戦は始まります。間違えずに唱えることができれば合格。「認定証」を私から受けとることができる、というわけです。この取組は全体指導、特に低学年の算数を指導していただいている宮嶋先生が考え、準備していただいたもの。宮嶋先生、有難うございます。

- 私の前に一人立って試験に臨む子どもたち。どの顔も緊張でいっぱいです。それでもふだんの力を発揮して合格、認定証を受け取ることができた子、見事です。一方で、いつもはすらすら言えるのに間違えてしまう子がいます。涙を流す子もいます。あんなに練習したのに、友達合格したのに、と悲しい、くやしいはずですが。でも、あきらめずにまた練習、再挑戦するすがた。すばらしいです。全ての子どもたちが「かけ算にんじゃ」となって笑顔で認定証を受け取ることができるよう、今日も宮嶋先生と2年生担任の河野先生、荒井先生、高平先生は指導支援を続けられます。